VMware製品に脆弱性！

VMware社が提供する、リモート環境での端末操作をサポートするためのソフト「Workspace ONE Assist」について、重大な脆弱性があることが発表されています。この脆弱性を悪用されてしまうと“認証を必要とせず「管理者」として不正アクセスされて、制御権を乗っ取られる”等、深刻な被害が発生するおそれがあり、早急な対策が必要となります。

【リモート勤務を導入しているとある会社の一例】

それぞれのパソコンから会社のシステムにアクセス

重大な脆弱性が存在！これを放置していると・・・

不正アクセス管理者権限奪取

顧客情報流出、マルウエア感染、機密情報流出

このような被害を防ぐために・・・

今すぐVMware製品のバージョン確認と修正パッチの適用を！

脆弱性が存在するとされるプロダクト及びバージョン

・ VMware Workspace ONE Assist Server 21.x

・ VMware Workspace ONE Assist Server 22.x

併せてチェック！基本の対策

＜情報セキュリティ５か条＞

・ＯＳやソフトウェアは常に最新の状態に！

・ウイルス対策ソフトを導入！

・パスワードの強化！

・ネットワーク共有設定の見直し！

・脅威や攻撃の手口を知る！

もし被害に遭った時は、警察に相談してください